

28人の家族が殺され、2度誘拐され奴隷になった。

ランナーの戦火

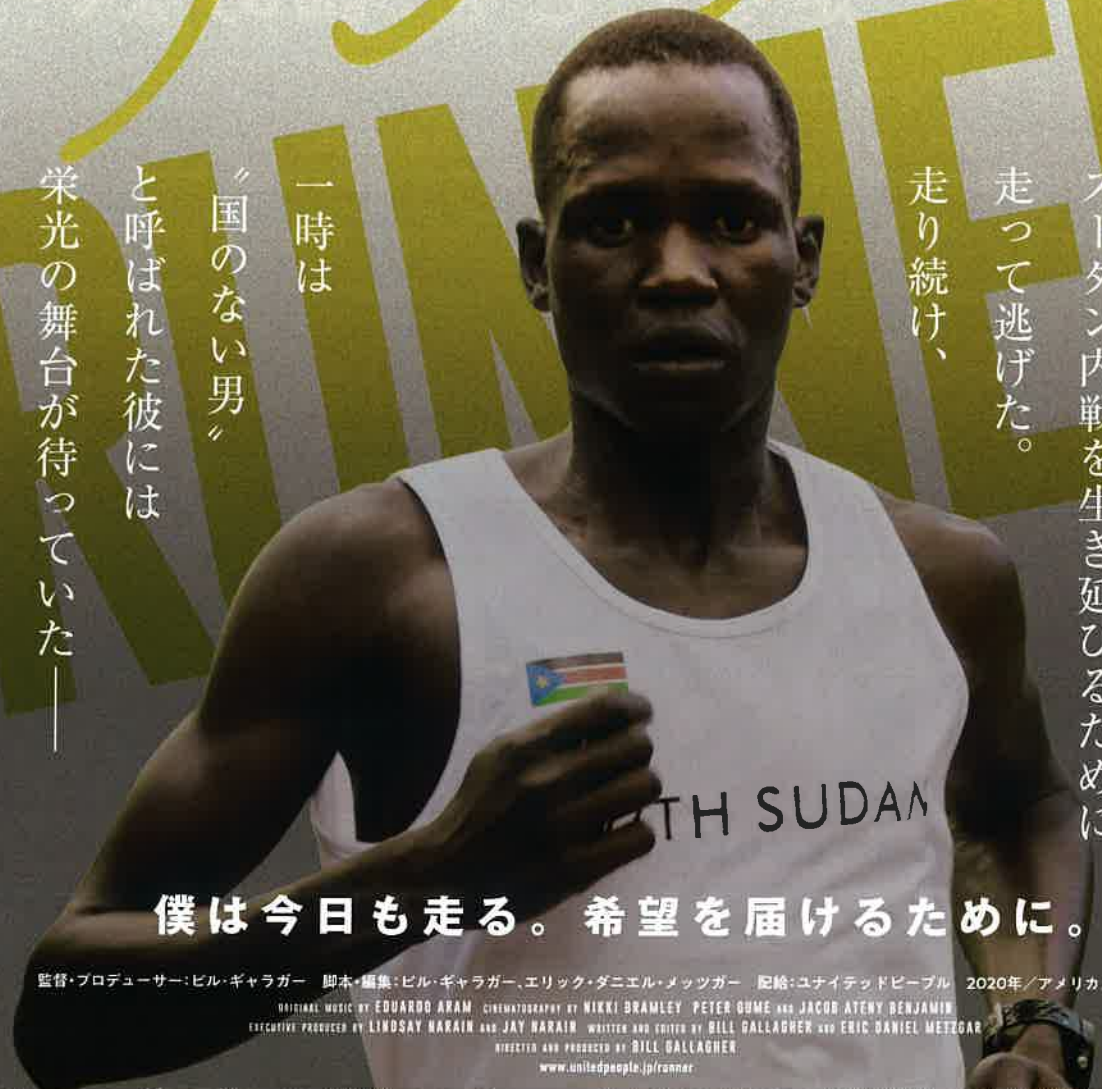
8歳の頃、グオル・マリアルは
スーダン内戦を生き延びるために
走って逃げた。
走り続け、

一時は

「国のない男」

と呼ばれた彼には

栄光の舞台が待っていた――



僕は今日も走る。希望を届けるために。

監督・プロデューサー：ビル・ギャラガー 脚本・編集：ビル・ギャラガー、エリック・ダニエル・メツガー 配給：ユナイテッドピープル 2020年/アメリカ/英語/88分

ORIGINAL MUSIC BY EDUARDO ARAM CINEMATOGRAPHY BY NIKKI BRAMLEY PETER GOME AND JACOB ATENY BENJAMIN
EXECUTIVE PRODUCER BY LINDSAY HARAIN AND JAY HARAIN WRITTEN AND EDITED BY BILL GALLAGHER AND ERIC DANIEL METZGAR
DIRECTED AND PRODUCED BY BILL GALLAGHER
www.unitedpeople.jp/runner



(公財)豊橋市国際交流協会 国際協力月間映画上映会

2021年8月14日(土) 7/5~予約、こちらから ↓

1 10:30~12:00 『戦火のランナー』

2 13:30~15:00 『ザ・トゥルー・コスト
~ファスト・ファッション 真の代償~』



会場: emCAMPUS EAST (豊橋市駅前大通二丁目 81)



「ザ・トゥルー・コスト」

ファッション業界でも大量生産・大量消費が問題化 誰かの犠牲の上に成り立つファッションに変化が起き始めた!トレンドはエシカル&フェアトレード・ファッション。ファッション産業の今と、向かうべき未来を描き出すドキュメンタリー。

これは衣服に関する物語で、私たちが着る服や衣服をつくる人々、そしてアパレル産業が世界に与える影響の物語だ。これは貪欲さと恐怖、そして権力と貧困の物語でもある。全世界へと広がっている複雑な問題だが、私たちが普段身に着けている服についてのシンプルな物語でもある。

この映画は、きらびやかな



ランウェイから鬱々としたスラムまで、世界中で撮影されたものでステラ・マッカートニー、リヴィア・ファース等ファッション界でもっとも影響のある人々や、環境活動家として世界的に著名なヴァンダナ・シヴァへのインタビューが含まれている。またフェアトレードブランド「ピープル・ツリー」代表サフィア・ミニの活動にも光を当てている。私たちは行き過ぎた物質主義の引き起こした問題に対して、まず身近な衣服から変革を起こせるのかもしれない。

監督:アンドリュー・モーガン

プロデューサー:マイケル・ロス

出演:サフィア・ミニ、ヴァンダナ・シヴァ、ステラ・マッカートニー、ティム・キャッター、リック・リッジウェイ他

配給:ユニテッドピープル

特別協力:ピープル・ツリー 2015年/アメリカ/93分/カラー

参加費:無料 要予約、定員:30人(申込み順) 両映画英語。日本語字幕付き

問合せ: 公益財団法人豊橋市国際交流協会 TEL0532-55-3671

tia@tia.aichi.jp (豊橋市駅前大通二丁目 33-1 開発ビル 3階)

7/24~ 移転先:豊橋市駅前大通二丁目 81 emCAMPUS EAST2階)

☆(公財)愛知県国際交流協会国際交流推進事業費補助金補助事業☆